



チート触手怪人、魔法天使を墜とす

ムチムチ女幹部もまとめてイキ落とし

基本CG33枚+α
本編たっぷり140枚収録!



さあ立川くん
改造手術の時間よ！

今度は何に
改造する気
ですか!?

それはこれから
改造されれば
分かるだろう？

ぎゃあああああ
あああああつ!!

ラグリア

ヘレン

俺こと触手怪人シヨクシユンガーは
ステゴン・シヨクシユンガーに
改造されて出撃し
魔法天使エンジェルフレアを追い込んでいた

何なの!?
この恐竜怪人!!

フレア・インフェルノ!

無駄だ!
テイラノスの硬さを
さらに強化した俺に
そんな攻撃は効かないぞ!





さあ捕まえた！
犯●てやるぞ
エンジェルフレアっ！

ぎゃああああ
あああっ！！

気持ち良いか……
俺に犯●れて
可愛い声が出るぞ

あああっ……硬いのが
ごりごり、当たって……
ダメ、はあっ、あああっ……

気持ちよくなんて
ないっ……！

ズッ

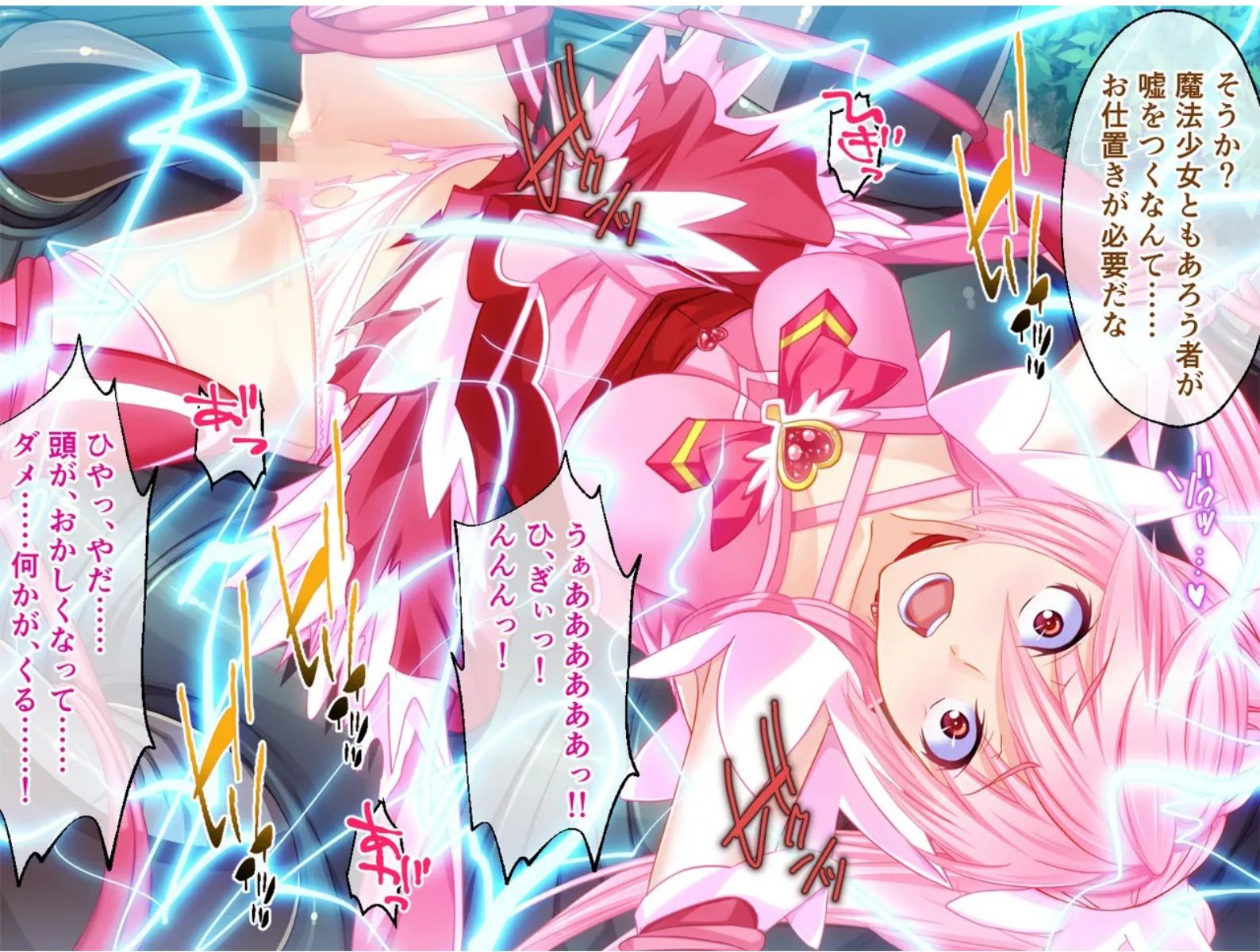
ズッ

ズッ

ズッ

セッ
セッ

セッ



そうか？
魔法少女ともあろう者が
嘘をつくなんて……
お仕置が必要だな

ひやっ、やだ……
頭が、おかしくなって……
ダメ……何かが、くる……！

うあああああああ！！
ひんぎっ！
んんんっ！

♡♡♡♡♡

まっ

まっ

まっ

まっ



なかなか良い
イキっぷりだった
じゃないか……
くくくつ

はっ、はああ……
こんな目に
あってるのに、私……

はまき♡

はまき♡

変態魔法少女
なんだから
仕方ないだろう？
ふはははは！

はまき♡

くつ……！
んっ、あっ、だ、ダメ……
出ちゃう……や、あっ……

んんんん

んんんん



あふっ
んっ、んっ!

ニギロロロッ

ニギロロロッ

ニギロロロッ

ははは、こいつはいい!
魔法天使様がオシッコを
漏らすなんてな……
しかも俺の上で!

ふえ……やっ、出ちゃってる……
オシッコ、漏らしちゃった……
あああ、ひっ、んっ、んっ……

俺はグラノワーム・シヨクシユンガーに変身し
次は魔法天使エンジェルアクアを捕らえた

お尻

んああっ！
いやっ、入って
来たあっ！

セクセク

セク

そう嫌がることはないぞ
今日は特別なサービスを
用意してやってるんだ

セク

ん？
何、この甘い
臭い……？



触手から媚薬が溢れ出して
それが蒸発しているんだ

び、媚薬……!?
そ、そんな……
はあ……あ、んん……

や、やだ……身体が熱く
火照ってきて……
んはあ、はあ、はあ……

ひうん!
んはっ、あああっ……
やめてっ、動かさないでっ!
アソコが擦れてすごいっ
すごいっ!

あ、
あ、
あ、

あ、
あ、
あ、

あ、
あ、
あ、

あ、
あ、
あ、

あ、
あ、
あ、



そ、そんなこと……
ひあああぁっ!!
んああっ、や、やめてっ
こないいきなり激しくっ
駄目っ、駄目えっ!

んふあっ、あああっ
おかしくなっちやうう!
こんなすごいのはっ
キモチイイの初めてでっ
あああっ、ふあああっ!

すごいっ、あああ……
感じちや駄目なのに
いいっ、すっごく
気持ちいいよおっ……!

いい感じだな
まだ少ししか
動かしてないのに
すっかり
出来上がってるぞ

ニギユ

ニギユ

ニギユ

ニギユ

あ

あ

あ

あ

激しい絶頂の連続に
やがて精も根も尽き果てたのか
アクアはぐったりと力が抜け落ちた

あとは魔法天使
エンジェルライトを
残すのみ……

俺はサラマンダー・シヨクシユンガーに変身し
唾液を飛ばしながらライトに近づいていった

きゃっ、汚な……
うん……か、体に力がっ
入らな……きゃあっ！

神経毒が
効いたようだな

卑劣な手を使うわね！
ううっ、全然動けないっ

ちよっと
何する気!?

決まっているだろう
これからお前を犯●んだ



ククッ
この舌の毒で
強制的に
発情させてやる
存分に悦がれ



あっ

ハッ♡♡♡

あっ

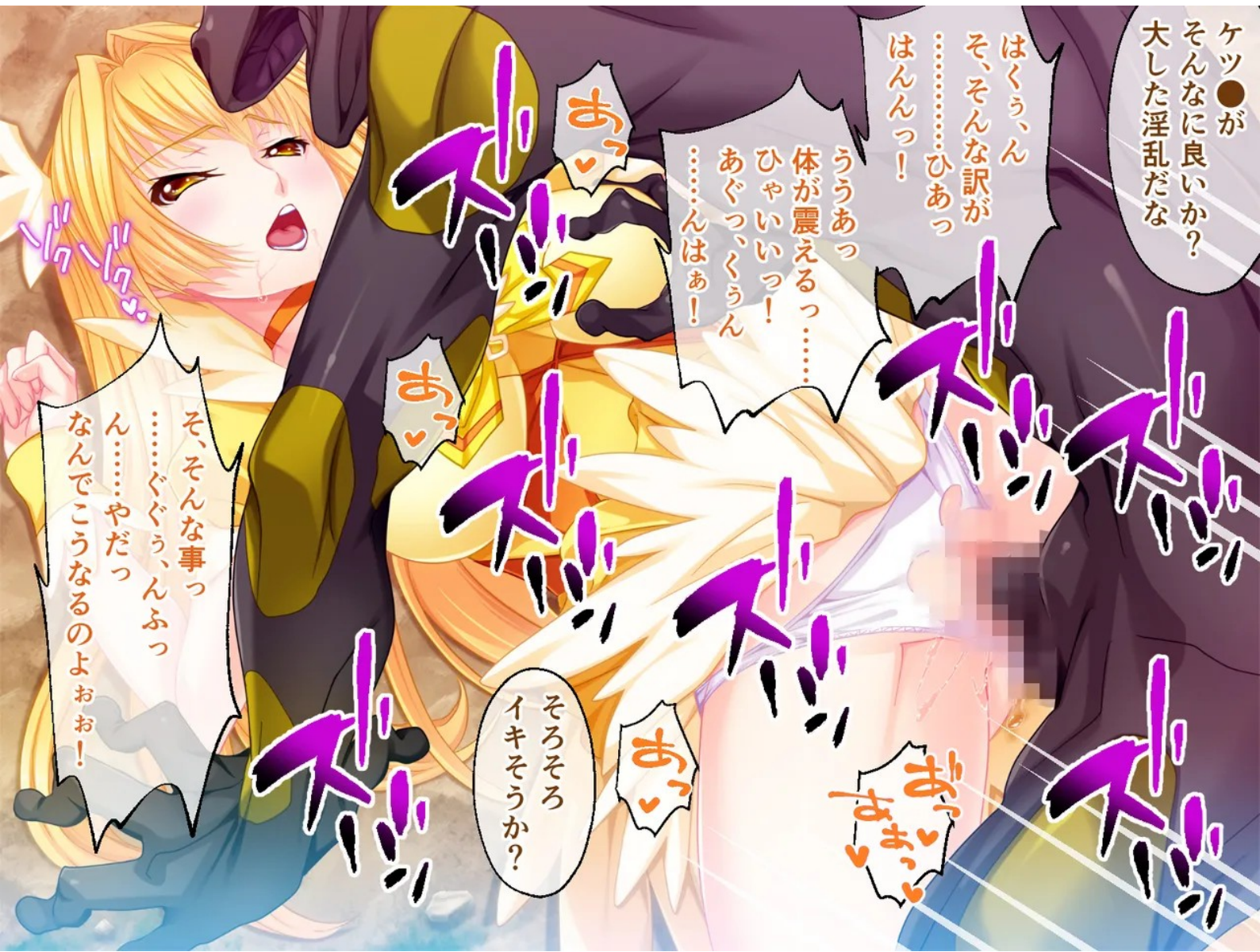
あっ

あっ

あはああああつ!!
くひっ、ああつ……
感じ、たく……んうっ
ないのに……っ

ひぎい!!
ああんっ、ふあつ……
あううううっ!

デカチ●が二つも
入って来るなんてえっ
んっ……くああつ



ケツ●が
そんなに良いか？
大した淫乱だな

はくう、ん
そ、そんな訳が
……ひあつ
はんんっ！

ううあつ
体が震えるっ……
ひゃいっ！
あぐっ、くうん
……んはあ！

あつ
ズッ

あつ
ズッ

ズッ

ズッ

あつ
あつ
あつ

ズッ

そろそろ
イキそうか？

そ、そんな事っ
……ぐぐう、んふっ
ん……やだっ
なんでこうなるのよおお！



あひっ、おふっ、ふはあ……
いつまでその気持ち悪いのを
私に入れてるつもりよ!

ド

うぎやあああ
あああつ!!

あれ……?
動ける……

そんなんっ
バカな!?

ライトサンダークロー!!

俺は攻撃を喰らって
吹き飛ばされた

デスブランドの支部基地に戻った俺を
ヘレンさんとその部下のユリが出迎えてくれた

魔法天使達を犯●て
魔力を奪うとは……
中々やるな、立川

最後は
やられちゃい
ましたけどね

褒められたんだから
喜んでおきなさい

あ、はい……
ありがとうございます
ございます

では早速
その奪った魔力
分けてもらおうか



魔力と精●を受け渡すため
俺はヘレンさんと
セックスすることになった

おっぱい

んんっ
硬くて熱い
いい●棒だっ

それはこっちも
同じですよっ
ナカが、すごくいいっ

あっ♡
ぬん

ぬん

あっ♡
ぬん

ククツ、もっと
感じさせてやる
あくっ、あふ……っ



うわっ
...すごいっ
こっちは...

この押し広げられる感覚
久しぶりだっ...
ふぎっ、あんんっ

くう...
ヘレンさんの中
火傷するぐらい
熱いですよっ

ふぐっ!?
うぐぐっ...んはっ!
はあんん...っ!

ハチキッ
ハチキッ
ハチキッ

ズッ
ズッ
ズッ

だろぅなっ……
んふう、●棒大きくて
私も体の火照りが
止まらないんだっ！

んはあ……
だからもっとお
もっと深くっ……
はぎい！

うわっ……
おおっ！

んはあ……●棒の先が
グリグリ当たってっ……
ふわっ、ああん！





し、締め付けが
強すぎてっ
で、出ます!

うくっ
し、射●が
とまらないっ



精●が子●に
掛かっているぞ!!
あひいいいっ!!



俺もかなり
気持ち良かったです

そうか
それは良かった

ん……ふう
きつちり
イカされたな……

でも、こんなに
気持ち良かったのは
久しぶりだ

ほっ
♡♡

ほっ
♡♡

ほっ
♡♡

ほっ
♡♡

ほっ
♡♡

ほっ
♡♡

ほっ
♡♡

その目、デスブランドが出現したと聞きつけ
公園で変身したエンジェルフレアことひかりは
同級生の江呂^{えろ}に正体がバレて窮地に陥っていた

……フレアちゃん
世間に正体を
バラされたくなかったら
エッチなことさせてね

ほら、この
バ●ブ付き下着も
フレアちゃんのために
買ったんだよ

は、うう……
パンツの中で、動いて
……はっ、あ、ああ……

はまき
はまき



やっぱり良いな……
フレアちゃんの
声を聞いてるだけで
興奮するよ

それじゃ、君のせいで
こんなになった●棒を
慰めてもらおうかな

ふぐっ、ちゅぷっ
んぐ、んん……
うごかないで……
喉に当たって
んぐ、むうううっ!

いいよ!
フレアちゃん
いつ出ても
おかしくないよ!

あぐっ、むうううっ
……むうっ!
もう、やめへ……
はぐ、んんっ!



ああ、フレアちゃんの口の中
こんなな気持ち良いなんて……
おっと、俺だけ
気持ち良くなるのも悪いね

ひあつ！
さっきより、動いて
……あああ、あつ！

フレアちゃん
可愛い顔してるよ
ああつ、もつと俺の
●棒吸い込んで……！

ぐう、むはああ、ふぐつ
んんんっ、んんんっ……！
やっ、めっ……むううううっ！





フレアちゃん……
全部飲んで、零したら
ダメだよ……

しかし、飲んでいる途中で
デスブランドの戦闘員が近づいてきた
慌てて逃げる江戸をひかりは追いかけた

待って！
行かないでっ！
このパンツを
外してよ……

ご、ごめん！
じゃあ
家上ってよ

う、うん……

ガッ

……あ、そうだ
先に紹介したい
人達がいるんだ

やあ、桑島くわしまひかり
いや……
エンジェルフレア

ええっ!?
シヨクシユンガー!?



どういうつもりよ
私の私生活にまで
手を出してくるなんて……!!

もう精神的にも
身体的にも
ボロボロだろう

それでこそ
魔法天使洗脳計画も
進むというものだ

何よ、それ……!!
私が貴方の
思い通りになると
思ったら大間違いよ!

フレア・フェザー
フォーゼー!!

ひかりは咄嗟に変身するが
それを見て俺はポケットに
入れていたスイッチを押す



えっ、えっ!!
な、なにこれ?
なんで私
こんな格好……!!

さあ、楽しい
ショータイムの
始まりだ

な、何なの……?
一体、私の身体に
何を……して
ひあっ!!

ひあっ!!
な、なに……
股のバ●ブが……
動いて、んっ……!!

俺は何もしてないさ
お前に付けたバ●ブが
魔法少女のエネルギーを
狂わせる装置なだけさ

ズレ

ズレ

ズレ

ズレ

ズレ



そんな、やだ……
外してっ
外してよおっ……
んんんっ！

おっ
おっ

おっ

やっ、ああああ、あつ
動かないでっ
気持ちよく、なっっちゃう……

はははっ！
良い様だな、フレア……
そのまま
快感に落ちてしまえ

やっ、ふああ……んぐっ、ふっ！
とめ、て……
もう、た、耐えられない……
はひっ、んああ……！

おっ
おっ
おっ



ひっ、はああ、イク
もう、イっちゃう
んんぐ……ううっ！



全身を快感の痺れに震わせながら
フレアはいつまでも
下半身を左手で弄り続けていた

一時的とはいえ
フレアを悪堕ちさせることに
成功したので、次はアクアに
狙いを定めた

クッククックッ!
捕らえたぞアクア!!

この!!
放して!!

おっと
往生際が悪いな

んああっ!?

このまま

また犯●てやりたいが

今日は違った方法で

楽しませてもらう



睡眠薬で眠らせたアクアを
地下牢に拘束し
洗脳する前に交渉を試みた

どうだ？
今、負けを認めて
自らデスブランドの
軍門に降れば

客人として
もてなして
やってもいいが

……潔く負けを認めて
正義を捨てる？

それが
お互いのためだ
という提案だ

お断りです
私は何があっても
絶対に貴方達に
屈したりはしません！

そうか、では
交渉は決裂だな

な、何よこれっ!?

そいつはスライムだ
お前が男でも怪人の俺でもない
スライムなんかにかいかされる様を
たっぷり眺めていてやる
さあ、やれスライム!

七ッ
七ッ

七ッ

二
二
二

七ッ
七ッ
七ッ

七ッ

七ッ

七ッ

七ッ





や、やだ……んっ
撫で回さないで
いや、やめ……くうん

あつ、はあ……
何、なんなの
これ……

ひゃん!!
中に入って来ないでっ
あつ、あああ……!!

感じちや駄目なのに
んああつ、すごい
気持ちいいのが
止まらない!!

にゅる
にゅる
にゅる

ぬ
ぬ
ぬ

にゅる
にゅる
にゅる

あつ



んはっ
はあはあ……
はあはあ……

正直驚いたぞ
さっさと音を上げて
負けを認めますと
すぐに泣き叫ぶと
思ったんだがな

くっ……んあ……
あああ……そ、そんな
真似、しません

あふ……はあ、はあ……
この程度じゃ
私は負けませんから

そうか、それなら
自分から負けを認めて
仲間に入れてください
犯●てくださとおねだりするまで
たっぷり可愛がってやろう

グググ

わあ

どうせ時間はたっぷりあるんだ
色々と趣向を凝らしてやるぞ

夜遅く、アクアを引き連れて
公園へやってくる
ホームレス達を集めた

ここにいるのはお前の言う
正義では救われなかった
者たちだ

住まいも食事も
満足に出来ない者に
デスブランドは金を施す!

さあ、アクアを
犯●てくれる者には
金一封をやるう!

なっ……!!?

俺がやる!

七!!





いいいや
俺だ!
俺がやる!

んんっ……
いやっ
止めてっ!

俺だ!
俺にやらせてくれ!

ははは

ははは

うぶっ、んぐ、ぶほっ
げほっ、げほっ……
んぶうう、ぐむう、んんっ!

はは

ははは
ははは

はらはら
はらはら

はら
はら

アツアツ
アツアツ
アツアツ

おおっ、いい、いいぜ
久しぶりにたまんねえ

我慢出来ねえ！
出るっ、出るぞっ！

シッポ

シッポ

シッポ

シッポ

いやあ
気持ちよすぎて

三人とも
随分と早かったな

シッポ



だけどまだまだ
これからが本番だぜ

むうん……ふはっ
はあはあ、やだ、いやあ
こんなのって
こんなのってえ……!!

そ、そんな……
やめ……
んぐううん!

おいおい
なんだか甘い声
出し始めたじゃねえか
●プされてるのに
感じてんのか?

それなら早く言えよ
今度はあるたも
イかせてやるぜ





いやなのに！
感じたくないのに！

そらっ、そらっ！
もう一度たっぷり
出してやるからな
ほらいけ、イっちまえ
淫乱魔法天使が！

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

セッ
セッ
セッ

セッ
セッ
セッ

セッ
セッ
セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

数時間後

フキヤママ……

♡♡

あひっ、あひい
んふああ……！
しゅごい、んふああ……
デカチ●しゅごい
きもひいいよお……！

♡♡♡

ククッ、いい具合だ
後一押しで
完全に堕ちるだろう

群がったホームレス達が
満足するまで犯●れ続け
弱ったアクアの洗脳は成功した

♡♡

しかし念のため
深層心理の奥底まで
洗脳することにした

あ、貴女は……

私は貴女
本当の貴女よ

本当の、私……？

そうよ
つまらない理性に縛られて
偽り続けた貴女の本心

シヨクシュンガーに
犯●れた事で
性に目覚めてしまった
本当の私





違う！
私は、私は……
そんなんじゃないっ！

素直じゃないんだから
ほら、思い出しただけで
こんなに濡れてるじゃない

あつ……
や、やめて……

触らないで、あんっ
あつ、ふあつ……
んっ、んんう……
くうん……！！

私の手を、男達の手だと思って
レ●プされた時の事を思い出しながら
気持ちよくなっちゃいました

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



あああ……私、あふ、んんう
どうしてこんな身体が熱く……っ

気持ちいいでしょう？
んちゅ、ちゅる、ちゅぢゅ
ぢゅるるうう！

なんでキス……
あむうん、ちゅぶ
んんう！

あああ……いやっ
気持ちよくなんて
なれるわけない……
あっ、んくっ

あれだけ何度も
何度もイった癖に……
あむ、ちゅく
ちゅ、ちゅうう……

チュウ
チュウ
チュウ

チュウ
チュウ
チュウ

チュウ
チュウ
チュウ

アッ
アッ
アッ



あああつ
捧げます
捧げますうっ!

ふあああつ、すごいっ
しゅごいひいっ!
いくっ、イきたいのお!

ふふふっ、いいわよ
身も心も全てシヨクシユンガーと
デスブランドに捧げながら
遠慮なくイってしまいなさい!

セクッ

シヤアアッ

セクッ

セクッ

セクッ

セクッ



アクアを洗脳している間に
ライトも手に入れようと俺は出撃し
まずは催●攻撃を仕掛けた

すっ、好きに
やらしてもらって
いいんですよ

ああ
好きにやれ
構わないぞ

よ、ようし
じゃあ……ほら
しゃぶれ

はい





お、おとおっ
いっ、いいぞっ
うはははっ

ああ、最高だ
このままザー●ン
ぶちまけてやるからなっ

おっ、俺もだ！
しごけっ

ん、ふあい……
んっ、ふうーっ
んっ、ちゅ、んちゅっ

しゅわん

しゅわん
しゅわん

しゅわん
しゅわん

しゅわん
しゅわん

しゅわん
しゅわん

しゅわん

しゅわん



ザー●シン……
すごく、嬉しいです
はむうっ、ちゅううっ

うおっ、出るっ、出るっ
呑めっ、ぜんぶ呑めよおっ！

んっ、ぐう！
んっ、んく、ん……っ

の……
呑みました……
おいひ……
はあう……

フニヤマニ

みなさんのザー●ン
私に全部、残らず
射●してください

と？
と？
と？

精●塗れのライトは
未だ催●は解けていないが
自分から●棒を求めた記憶は
しっかりと残っている

正気に戻った時
その屈辱に苦しむ姿を見てやるうと
日常生活まで監視することにした

満員のバスか
……おもしろい

今、お尻を
触られた？

……いや、コイツ
私を狙って……

な、何これっ……
手じゃなくて、触手!!

アンタ、まさか
シヨクシユンガー!?





まさかこんな所で
何で私の事が
分かったの？

簡単な事だ
一度犯●た女は
決して忘れないんだよ

はう……うっ！
やめ……え
……やあ……っ

ふふふ、どうやら
身体の方は俺の触手を
求めているようだな
そらそら

うっ!
やめ!

うっ!
やめ!

あう……っ
うう……っ

前も後ろも、回も
全部……
気持ち、ららら……

ズン

ニギュ
ニギュ

どうしてこんなに……っ
こんな奴に……
私は感じてるの？
淫乱……だからなの？

いや、淫乱じゃない……!!
私はエンジェルライトなのよ!
イツちゃだめよ、牙華さやか

ん

ふうーっ、ううーっ
たまらん
こっちが先にイカされそうだ

ん





いつちゃう、いつちゃう！
私も、いつちゃうう……

放たれたザー●ンに睡眠薬を混ぜたため
ライトの意識はすぐに薄れていった

デスブランドの基地にライトを連れ帰ると
用意しておいた拘束台に固定した

……う、うう……

起きたか
エンジェルライト

く、お、お

お、お前はシヨクシユンガー！
くっ、ううっ、この……っ
外しなさいっ、この卑怯者！
絶対に許さないんだから！

はっはっは
変身したってどうせ
なにもできないぞ





いやあああつっ！
やめてええっ、やめてええ！
洗脳なんて……
私は絶対に……

苦痛に弱まった精神は
容易に外部からの
意志に従うようになる

耐えれば耐えるだけ
苦痛が長引くだけだぞ？

私……は
そ、そんな……

ああ……や
やあ……ん
だめ……
ああ、だめえ……

私は……ああ……
あつ、あつ、ああつっ！

あ……
あ……

連続絶頂を何度も極めている間に
ふたなりに改造していると
ライトは氣を失ったので
地下牢に連れていき鎖で拘束した

おはよう
牙華ちゃん

ん.....ここは？

すけろっ

セッ

.....美由紀!!
何をしてっ!?

セッ

セッ
セッ



冴華ちゃんもふたなりに
してもらったんでしょ？
一緒に気持ち良くなるうね

そしてデスブランドに
忠誠を誓う
忠実な兵士になるうね

きやうっ！
や、やめてっ
動かさないで……
はあ、はあっ！

あ、
はうっ……あああつ
も、もう……気持ちいいの
いやあああああああつ！！





チュルッ♡

あらあら
もう出ちゃったの？
敏感なのね、貴方……
あはははっ……

あ♡

うっ……くうっ……
動かないでえっ
激しい、くうんっ……
はう、はっ……！

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡



はあああ、ダメ
ああああ……！
またイっちゃうっ

はああ……
私も射●しちゃった……
搾り取られるみたい……

ライトはあまりの
快楽と屈辱に陥落し
洗脳は完了した

しかし、何故かアクアの洗脳が解けてしまった

ひどいじゃない、美由紀私を悪堕ちさせておいて自分はまた正義面するの？

……そんなの許さないんだから

やめて！手を放して！

叫んだって無駄よだってみんな催●術にかかっているから

さあ、泣き叫んで犯●れて頂戴

セクッ

セクッ

セクッ

くはあま

いやっ、やめてみんな！
お願い正気に戻って！

へへっ
教室で相崎を犯
とか興奮するな

んああっ！
抜いてっ、いやあっ
動かないでっ
くううっ！

おおっ
すげえ入った！

くっ、おおっ
たまんねえ！





もう限界……！
出すぞお！

んあああ……そんな……
いやあ……
クラスメイトに犯●れて……
みんなの前で汚された……

でも、ちよつと
早すぎじゃない？

どんだけエロい
身体してんだ相崎はよ

早く次の人
やっちなよ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

数時間後

うろうろ……
ぐすつ……

レ●プでイくとか
マジあり得ないんだけど
美由紀ちゃんって
ビッチだったんだね

俺！俺俺俺！
相崎を滅茶苦茶に
犯●てみたい！

ねえ、次は
誰が遊ぶ？

休みもなく犯●れ続けたアクアは
ゆっくりと心を壊され
デビルライトになった
冴華の●隷へと洗脳されていった

さあ、美由紀
今度は私が
可愛がってあげるわ

結構、派手に
調教してあげたのに……
まだまだ良い
締め付けじゃない……

はうっ、んん……！
牙華様の
デカチ●最高お……！

んふうっ……
はうっ！
はん、んんっ！





ひやはっ！
子●が
降りてきちゃう……
ひやううんっ……！！

牙華様のデカチ●、硬くて……
私の気持ちいい所
ばっかり攻めてくるう……！！

もう、イキたい……！！
イキそうなんです……！！

良いわ、美由紀……
好きだから
イキなさい！

ほっ
ほっ
ほっ

ほっ
ほっ
ほっ

ほっ
ほっ
ほっ

思
思
思





も、もっとして欲しい...
アソコが壊れるほど
いっぱい、いっぱい...

良いわ
もう少しくらいなら
遊んであげる

満足した...??

はぁあああんっ...
精●の匂い
染み付いちゃう

デビルライトはエンジェルフレアを
悪堕ちさせるために行動を始めた

ひかり
ちよつと相談が
あるんだけど……

牙華ちゃんが
私に相談って
……珍しいね

実はこれ
なんだけど……

何これ……首輪？

ちよつとつけて
みてくれない？

別にいいけど……
うっ





セッ セッ

きゃあつ!
な、何っ!?

トザッ

あら、顔色が悪いわよ
ちよつと横になりなさい

なんで冴華ちゃんのアソコからそんなものが……

セッ セッ

の
と

良いでしょう……
シヨクシユンガー様に
付けてもらったの
デスブランドの一員になった
記念としてね

そんな……
牙華ちゃん
嘘でしょう!!

本当よ

はぁ……
やっぱり、想像した通り
ひかりの中は気持ち良いわ……

あはぁあつ!
や、だ……太いのが
なかにい……っ!



あふっ、うあああ、はっ！
や、やめて、冴華ちゃん……！
はげし、すぎる……！

仕方ないじゃない……
こんな、気持ち良い
アソコ持つてる
ひかりが悪いのよ！

ひっ……はっ！
そこ、ダメッ！
変に、なるうっ……！

良いの
狂っちゃいなさい……
貴方も、快樂の虜に
なればいいの！





すごいわ！
ひかり、もう、出ちゃう……！！
私、先に、精●搾り取られちゃう！

辛い現実から逃避するようたして
ひかりはゆっくりと目を閉じて
意識を失った

これから貴方を犯●て洗脳して
私の●隷になってもらうんだから
起きてくれないと困るわ

起きて
ひかりちゃん

ぬ
ま
り

ん、んん……えっ……!!?
美由紀、ちゃん……?
何……この、触手……

まさか……
美由紀ちゃんまで
デスブランドに……?

あははっ、そうよ!
良いわね……その表情!
ゾクゾクするわ……



この二つの穴を
犯●まくったら
もっといい顔に
なるかしら……

や、やめてっ！
ふあああん……
奥まで、ふあ！
入ってくる……！

ふうん……
んぐっ、ああああ、あっ！
そ、んな……
突き上げ、ないで……！

あはあああ、あっ！
あっ！
お腹の中で、ゴリゴリ
当たってるう……！

あらあら
もう墮ちちやうの……？





だって
はぁあ、はっ……

敏感過ぎでしょうか？
淫乱なエンジェル
フレアさん……

あらあら
もう絶頂しちゃったの？
早いわね……

もう、ダメ！
やめてえええ！
動かさないでえ！

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

セッ

気を失うまで詰られ犯●れた
フレアが目を覚ましたのは
守るべき市民達の目の前だった

お、おい……
魔法少女が磔にされて
犯●れてるぞ

えっ……？

クワッ

犯●れて
感じてるんじゃないぞ
変態が！

えっ!!

クワッ

何やってんだよ！
敵は魔法で一発だろう！
さっさとしろよ！

クワッ

クワッ

クワッ

なんだよ、あいつ……
情けないな……
他の魔法少女はまだか!?

なんで私が……
こんなに口汚く
罵られないと
いけないの……?!

冷たい奴らだな……
誰一人助けようとも
しない癖に
口だけは達者だ

お前は可哀想だから
もう気持ち良いことだけに
集中して楽になったら
良いんじゃないか……

そう……
なのかな……?!

チヨオッ
チヨオッ
チヨオッ

チヨオッ
チヨオッ
チヨオッ

チヨオッ
チヨオッ
チヨオッ



理性など捨ててしまえ……
お前も素直に快樂に流される

……っつ!?!
んあああ……
ふう、あん、あんっ……!
もっと、欲しい……
いいの……

そうだ……
この気持ちよさを認めて
そのまま堕ちてしまえ……

うん……!
良い、これ……
気持ち良いよ……

あはああんっ……
おつゆ
溢れちゃうう!





ふあああああ……！！
イクツ、デカチ●
気持ち良い！

……これで
魔法天使達も
終わりだな

ユリは次々とデスブランドに
悪堕ちしていく魔法少女たちを見て
ヘレンに洗脳されていた過去を思い出した

ヘレン！
絶対に許さないんだから！！

ああ、私まだ
お前はすでに
私の所有物なのだから
歯向かうことは許されない

私は所有物なんかじゃつ

……ああああんっ！！

や、やめ……なさい……っ

セリッ
セリッ

セリッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ



ぐねぐねうごめいて
……くひゃあんっ!

そ……そんなに動いちや
……んああつ!
ダメえっ!!

んおおおおおつ!
き、気持ち……良い……っ!

んはああつ!
……は、激しいっ!
いい、いいのおつ!

おおおおつ……

イク、イツちゃう……っ!

イクイク……イツちゃうう!!

あ

二千ヤ

あ

二千ヤ

あ

二千ヤ

あ



お、お腹の奥が……
熱い、精●が一杯……
はあ、あああつ！

うく……っ
か、身体が重たい……
頭も……

まさか……
こ、これって
薬……

ふっ……東の間の休息だ
せいぜい、しっかりと休んでおけ
お前には、これからも大事な役目を
負ってもらうのだからな

そ……そんな……
私は、私……は……

し……

コ……

ガ……

その後
洗脳が解けてしまったヨリは
ヘレンに実験動物のように扱われた



快楽も睡眠も、全てヘレンに管理され
自由を失ってしまったのだった

三人の魔法天使を墮とす事に成功した事で
俺は以前より出撃の回数が減った
退屈を持って余しながら
基地内をうろついている時だった

最近の立川の行動や言動は
少し度が過ぎてているかもしれんな

少しどころじゃ無いわよ
注意しても軽く受け流しちゃうし……
そろそろ本気で考えないとヤバイわよ

ああ、そうだな
本来改造手術で強化しても
あそこまで自我に影響を
与える事はないんだが……

どうやら立川の場合は
馴染み過ぎたようだな





……なら、立川くんを強化前の状態に戻す事には賛成なのね？

ああ

俺は反対ですよ

きゃああああっ!?

貴様っ
何のつもりだっ？

グッ
グッ
グッ

セクッ

セクッ

グッ
グッ
グッ

グッ

グッ

二人には羨が
必要なようなので
仲良く犯●てあげますね

ひぎい!!
んくうううう!!

うおおっ……
やめろおおっ
おほおん!

ほらっ、奥まで
ずぶずぶ
入れますよ!

おほおん

おほおん

おほおん

おほおん

おほおん





あざっ!
いやあ……
ふああっ!

あざっ!
♡

むほほっ!
あふう……うふう
ふああんっ!

ううっ……ぐはっ
こ、こんなの
我慢できないっ!
くううううっ!

あざっ!
♡

ひふうう!
子●イジメないでえ!
くふ、んほほおっ!

あざっ!
♡

あざっ!
♡

あざっ!
♡

あざっ!
♡

ククッ、良いヨガりっぷりですねでもまだまだ行きますよ

んほほおつ、しよ、触手が子●にまで入ってきたあ!!おほお……んぐううっ!!

擦られるうう!!
子●が疼いちゃううっ!!
んふう、気持ち良いのお!!

んう、ダメエ……イキそうよっ……はうっ!







あふうん!
うああつ……
た、たしゆけてええ!

ほっほっ

ほっほっ

ほっほっ

ほっほっ

ハハハハハッ!!
そうだつ、それで良い!
だが、この程度じゃ
終わらないぞ!

ほがぁ……ら、らめえ
もう体が動かないのお……
た、立川様許して下さい!!!

お願いですからああ
……くうん!

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ



おほっ♡
あまっ♡

おほお!
デカチ●に子●
殴られてるっ!

ひゃああっ!
乳首噛み千切られるっ!
ううっ、いひっ!

うぐぐっ、うあっ!
またイクッ、イグウウ!

あっ♡

あっ♡

あっ♡

おほっ♡

あっ♡

ゴキョウ♡
ゴキョウ♡

ゴキョウ

ゴキョウ

ゴキョウ

ゴキョウ





ククッ、そりゃ
よかったな

この快樂のためなら
何でも出来ちゃううう

はふう……最高ですう
もうこの快樂なしでは
生きていけないのおおつ

ほほ
ほほ

ほほ

ほほ

ほほ

俺に異を唱える者もいなくなったので
町の破壊活動を更に活発化するべく
悪堕ちした魔法天使達を出撃させた

ジャスティアの隊員って
本当に弱いわね
勃起するしか
脳がないんじゃないの？

なにを
言ってるんだ
……あうっ

ほいら
挿入っちゃった
挿入っちゃったわねえ

お前の●棒が
悦んでいるわ……
こんな●棒で……
女を思い通りにしよう
なんて……

おっ
っ
っ



お仕置が
必要だわ……

お
お

うお……あ……
ああ……あっ！

んう……う、はあ……あんっ
このお……●棒めえ……っ

おとなしくう……
あつ、しなさあ……
あっん、んうっん！

お
お
お



う、お、……………
おっ、おとおおっ！

あ……………

セッ！

ちよつと
……………なに？
出しちゃったの？

なによ
このていたらくは！
情けない●棒は！

てっ！
やぐ

てっ！
やぐ

寝てあげないと
駄目ねえ……

うあ……っ
な、中が……っ
あうううっ
くう……っ

ほら、もっと
硬くするのよ……っ

そうよ……これ……
私を……気持ちよく……
イかせ……はあ……あん
イカせるの……

私が……いいと言うまで
ザー●ン我慢するのよ……

うぐう……っ！

ぢやい

ぢやい

ぢやい

ぢやい





や……
うぐ、やめ……
あっあ……っ！

ん……

………まったく
本当に使えない男だわ
2回も射●しておきながら
女ひとりイかせられないなんて
この能なし！

やっぱり
シヨクシユンガー様に
犯●てもらうのが一番だわ！

とっ
て
て

とっ
て
て

——方その頃
デビルアクアは
名前も知らない隊員を
弄んでいた

ほら、暴れないの
貴方だって、こんな
勃起させてるんだから
期待してるんですよ？

くっ、やめてくれ
こんなこと……！

ほら
私の手コキ
どう？

くっ
くっ
くっ

くっ
くっ
くっ

くっ
くっ
くっ

くっ、うっ……
き、気持ちいい……

ふふっ
正義を捨てて
デスブランドに寝返った
女の子相手なのに

●棒握られて
ちよつと擦られたら
気持ちいいなんて
言っちゃって
恥ずかしくないの？

そ、それは……
く、くそ……！



あああつ、くるう
出るっ、出るうっ！

ふふ、もう出ちゃった
早すぎじゃない？
情けないわね

こんなの正義としても
男としても
もうおしまいね
隊員辞めた方が
いいんじゃない？

グチュッ

グチュッ

グチュッ



本当に辞めた方がいいんじゃない？
こんな虫ケラが
なんで隊員してるのかしら？

うぐっ！
も、もうやめっ

口だけじゃなくて
抵抗してみなさいよ
張り合いがないわ

グッ！
グッ！
グッ！

く、そっ！
俺は……

グッ！
グッ！
グッ！

グッ！
グッ！
グッ！

蹴られてどんどん
●棒が硬くなってるじゃない
どれだけ変態なのよ



ち、違う！
これは身体が
勝手に……

言い訳は
いらなのよ！
この豚が！

ドセッ

ガッ
ガッ

あぐっ！
ああああ……も、もう
やめてく……はうっ！

どんだん変な汁が出てくるわ
足で踏まれて感じてるの？
面白い男ね

違う……
本当に、違うんだ……
蹴らないでくれ……！

お願いしますでしょうか？
まったく、いい大人が
そんな事も言えないなんてね！

もう惨めに射●
しちゃいなさいよ

踏まれて射●する
哀れな豚の声を
私に聞かせなさい
……あははは！



悪堕ちした魔法天使達が
存分に働いている最中
ラグリアを犯●て暇を潰していた

しかし
その事がヘレンの
癪に障ったようだった

へ、ヘレン……
何をトチ狂ったのよ？

別に狂ってなどいない
ただ手違いを治すだけだ

私こそが
支配者になるべき
なのだから

ぐっ!! ぎい!!
んううううううう!!

ズ
ン
ン

セッ
セッ

セッ



ぐううううううッ!
ぎひっ、ぐぐ……
うっ、ごお!

ド
ン
ッ

冷たっ!?!
何っ、水!?

ズ
ク
ッ

ズ
ク
ッ

ズ
ク
ッ

ズ
ク
ッ

とっておきの媚薬だ
クスリの効いた状態で
子●を突かれると
堪らないだろう?



おほおおおお!
んごっ!
おおうっ……
ひっ、んはあ!

やはり
この媚薬の前では
お前も勝てんな

んほおおおおおっ!!
おほっ!
はああああああんっ!!

クハハハッ
作り物の●棒で
雌犬のように喘ぐしか
出来ないとはな

無様だな!
惨めだなあ
ラグリア!

あゝ

あゝ

あゝ

ぐわぐわ

ぐわぐわ

ぐわぐわ

ぐわぐわ

俺は新たな改造を勧められ
ヘレンの実験室に行く
手術台に拘束された

お前にはいまから
私の為だけに動く人形に
改造させてもらう

わんわん

ぬんぬん

何だと!?
くそっ……

ぬんぬん

お前の媚薬を
お前自身に使ったからなあ
どうなるんだろうな?
狂ってしまうか?
ハハハッ



あぐぐつ
ぐあ……つ

んんっ、何時もより
大きいみたいだ
んふ……あはっ

いや、これは
デカチ●が痙攣してっ
あひいっ!

ああっ、出たっ！
出たぞ！
なんて射●の勢いだっ!

とっ
て

とっ
て



ククッ
まだ出るだろう？
そらっ、もっと
腰を力を入れろっ！
私をイカせろ！

ぐっ、ううううっ！

あ♡

あ♡

バクバク♡

あ♡

はああっ、いいぞっ
デカチ●がナカを
抉ってくるっ……
ううっ、ふんっ、くう……っ

おほ♡

うおほっ
デカチ●
飛び跳ねたっ！

セツ

セツ

セツ



ククッ
気持ち良かったぞ
だがこのまま
その力がなくなるまで
快楽を与えてやるっ！

くっくっくっ

くっくっくっ

くっくっくっ

お前は最高の
オモチャだからな！

さあ、私のものになれ！

……何をしたいのか
分からないが
とりあえず従ってみるか

くっくっくっ



立川様？
今日はここで
犯●てくださるの
ですか？

ヘレン様？
命令？

ああ
ヘレン様の命令でな

くは

んんん

んんん

んんん



まあ
気になるな

んはっ、ああんっ、あふっ……
うんっ、うほっ！
ひぐ……くっ、んあああっ！



おっと
昨日の媚薬が
残ってたかな



んひっ!
あひいいいっ……
らめえ、きもひいいい……っ

んふっ、ちよつと
休ませてえ……っ

ククッ……何言ってるんだ
まだ始まったばかりなのに

はっ
はっ

はっ

はっ

はっ

ククッ

ククッ

ククッ

ククッ

ラグリアを散々犯●た事を
ヘレンに報告しつつ
その体を縛り上げた

セッ

セッ

セッ
セッ

な、何っ!?
お、お前
何をやっている!?
この触手を解け!

なぜ?

貴様……
洗脳が解けたのか

ククッ、まあ
そんな所ですよ

セッ

セッ



私をどうするつもりだ？

ヒッ

アトオ

ふんっ、お前も単純な奴だ
以前私に媚薬を使って
犯●た際に
耐性を作ったから効かん

前に俺、強引に犯●れましたよね？
そのお返しですよ

さあ
媚薬もかけてあげましょうね

アトオ

へえ、この媚薬は
前のは違いますよ？
神経を蝕み、完全に快楽漬けに
させてしまうんで

アトオ



それがどうした？
この私がこんな
触手ごときで
快楽に狂うとでも？

それじゃ……
試してみましようか？

んっ、ぐぐっ……
ふっ……ううっ
ここのぐらいでっ……
ふう、ふう……はあ

私を感じるなど……
んぎい、かふっ……
うお、あんっ……

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

んぎい

んぎい

んぎい

んぎい

んぎい



や、やめろお!
そこはもう
止めてくれえ!

入れたら堕ちますか?
なら早速入れましょうか?

くぞおっ!
だ、誰が感じるか……
ううっ……あ、はあん!

……おや
こっちの穴もヒクついて
●棒が欲しそうですね

ニクニク
ニクニク
ニクニク
ニクニク

ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ

ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ



もっと
気持ち良いのが
欲しいのっ!

ハハハハハッ!
やっと認めたか!
そうら
もっとしてやろう!

ぐひいいいいいっ!?
触手デカチ●が内臓まで
届いて響くのお!

うほっ、うん……ああっ!
こ、擦れすぎてっ……
両穴繋がるう!

ハハハハハハッ!
そりやいいっ!

おほっ
おほっ
おほっ

おほ
おほ

ハハハッ
ハハハッ
ハハハッ

ハハハッ
ハハハッ
ハハハッ

ハハハッ
ハハハッ

おほ
おほ

ハハハッ
ハハハッ

ハハハッ
ハハハッ



精●を出してやる
両穴を癒着してみる

ラグリアとヘレンを快樂墮ちさせて性●隷にし
強力な魔法少女たちを3人も悪墮ちさせた
俺はデスブランドの上層部からも評価され大出世した

指揮官になった俺が
支部の女戦闘員を
全て犯●し尽くすと

皆、逆レ●プすることが
大好きなト淫乱になった

ああん!
気持ち良いわっ
もつと腰を
動かしなさいっ!

やめろっ
この淫売が!

ゆを
ゆを
ゆを

あっ♡

あっ♡





ん?
アンタもしかして
イキそうなんじゃないの?

アハハツ
敵である私に
イカされるのね!

んはあ!
うん...そんな事
言いながら●棒
ビクつかせるヤツが
居るかよ!

あ、熱いっ...
●棒が削られる!

んっ♡

んっ♡

ぬっ♡

ぬっ♡

ぬっ♡

ぬっ♡

ぬっ♡



んふっ!?
出た出たっ!
あはあん!

ううっ!

アンタ
DMじゃんっ
ほら、イキなさいっ
黄ばんだ臭い精●
出しちゃいなさいっ!

今日もデスブランドは
世界を悪に染める活動に
勤んでいるのだった

終



大人の
禁 SEXY 絵本

©heat-soft